

デンタルスタッフ・ミライ・プロジェクト ニュース vol.94

第10回 頑張っている歯科衛生士への 応援メッセージ

参加無料

11/12 Sun

10:00~16:00

会場 (オルガホール) +Zoomウェビナー

頑張っているあなたに、心に響く「応援メッセージ」をお届けします

基調講演 10:10~ 『やってよかった歯科衛生士』

歯科衛生士を目指した目的は『予防業務』という言葉の響きでしたが、最初に勤務した歯科医院の主な仕事は診療補助で、私の理想の歯科衛生士像とははるかにかけ離れていました。ご縁があって金子先生より声を掛けていただきましたが、当時の私は、スケーラーと言えば鎌形しか知らず、先生と先輩歯科衛生士の会話は、解らない事だらけで未知の世界に飛び込んだ気がしました。そんな私が金子歯科医院で長年勤務できたのは、歯科衛生士の仕事に誇りを持つことができ、患者さんと共に歩む医療にやりがいを感じていたからだと思います。



松本 絹子 歯科衛生士

1972年 地元の歯科医院、松本市歯科医師会口腔衛生センター勤務
1984年 金子歯科医院勤務
2008年 訪問メンテナンスを目指し、金子歯科医院にてパート勤務を経て市町村の介護予防教室及びデイサービスにて口腔機能向上のための指導を行っている

応援メッセージ

11:10~ 田頭 彩 歯科衛生士 (さくらデンタルクリニック)

12:45~ 古金 莉紗 歯科衛生士 (オーラルビューティ&ヘルスケア北歯科医院)

13:20~ 藤井 麻衣 歯科衛生士 (はな歯科クリニック)

特別講演 14:05~ 『「患者さんは先生」～患者さんに信頼される歯科衛生士に～』

日々の臨床を通して、常にアンテナを張って患者さんと向き合っていくことで、いろいろな情報を読み取ることが出来ます。それは患者さんの口腔内であったり、その時々患者さんの様子であったりします。情報が読めると、対応も決まり、その後の予測も立てられます。その結果、患者さんが口腔内を通して答えを出してくれます。それには医院の総合力が大切で、私たち歯科衛生士の責任を果たすためのヒントを、私の臨床から長期症例を提示し、患者さんから学んだことをお伝えします。

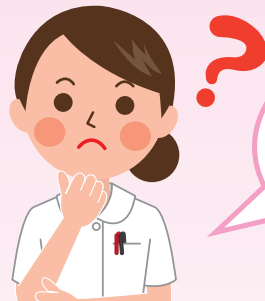
詳しくは同封のチラシをご覧ください

DH Pro.セミナー講師 藤原 早記先生による コラムのコーナー



歯頸部バーンアウトとは？

レントゲンの読影について、このような質問をいただきました。



レントゲンのカリエスと歯頸部バーンアウトの違いがよくわからない

レントゲンだけでカリエスなのか、歯頸部バーンアウトなのかを判断することは難しいです。透過像を確認した際、これはカリエスだ！と判断するのではなく、カリエスか歯頸部バーンアウトかもしれないと予測することも読影する上で大切です。

レントゲンだけでなく、視診も合わせて判断することで、無病誤診を防ぐことができます。

歯頸部バーンアウトとは？

歯頸部における濃度増強現象です。解剖学的に歯頸部がくびれていることにより、局所的に濃度増強され、カリエスのように見えてしまいます。

